

4 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、病院、水道、工業用水道および電気の4事業の経営を行っています。

本年度の企業会計予算の総額は、第15表のとおりで、前年度の635億4,690万6千円に比べ、37億9,046万3千円、6.0%の減となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会 計 名	平成23年度 当初予算額 (A)	平成22年度 当初予算額 (B)	比 較	
			増 減 (A) — (B)	伸 び 率 (A) — (B) / (B)
病 院 事 業	22,702,627	22,665,899	36,728	0.2
水 道 事 業	20,321,025	23,589,852	△3,268,827	△13.9
工業用水道事業	12,719,479	12,971,118	△251,639	△1.9
電 気 事 業	4,013,312	4,320,037	△306,725	△7.1
合 計	59,756,443	63,546,906	△3,790,463	△6.0

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

病院事業は、総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営し、県民の健康で文化的な社会の実現に貢献するため、良質で満足度の高い医療の継続的な提供に努めています。

ア. 業務の予定量

- (ア) 病床数 1,286床
(イ) 患者数

	年 間	1日平均
入院患者数	318,821人	871人
外来患者数	295,116人	1,209人

イ. 収益的収支 収入 18,178,246千円 資本的収支 収入 2,168,442千円
支出 19,988,480千円 支出 2,714,147千円

収益的収入は、入院収益、外来収益などの医業収益141億4,252万7千円、他会計補助金、負担金などの医業外収益40億3,571万9千円です。

一方、収益的支出は、職員給与費104億5,673万8千円、薬品費などの材料費35億5,961万7千円、事業運営経費34億3,782万5千円、施設・器械備品などの減価償却費12億8,041万4千円等の医業費用190億708万1千円、支払利息などの医業外費用8億4,649万5千円、及び退職給与引当金に係る特別損失1億3,490万4千円です。以上の結果、収支差引で、18億1,023万4千円の当期純損失を計上しております。

次に、資本的収入は、企業債10億8,310万円、県費負担金9億8,534万2千円、固定資産売却代金1億円で。

一方、資本的支出は、総合医療センターの病院増改築工事費3億5,549万5千円、各病院の医療機器購入など資産購入費7億3,506万3千円、企業債償還金15億8,098万9千円、看護師等修学資金貸与費に係る長期貸付金4,260万円です。

平成23年度の事業運営につきましては、次のとおり行います。

ア．こころの医療センター、一志病院及び病院事業庁（県立病院経営室）

今後も県立県営が継続されるこころの医療センターと、当面県立県営で運営されることとなる一志病院及び病院事業庁（県立病院経営室）については、「中期経営計画（平成22～24年度）」に基づいて策定した平成23年度年度計画に従って運営を行います。

イ．総合医療センター及び志摩病院

平成24年度から経営形態が変更となる総合医療センター及び志摩病院については、「中期経営計画（平成22～24年度）」の対象には含まれていませんが、良質な医療を引き続き県民に提供するという責務を果たすため、平成22年度における取組を総括した上で、平成23年度の重点取組等を取りまとめた「当面の運営方針（平成23年度）」に従って運営を行います。

（２）水道事業会計

水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市及び亀山市を含む4市4町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量149,300m³）津市、松阪市を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市4町を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量138,150m³）による給水を行い、上水の安定した供給に努めています。なお、南勢志摩水道の一部の施設（施設能力1日最大給水量31,000m³）については、平成23年4月1日に志摩市へ譲渡しました。

ア．業務の予定量

年間総給水量 75,350,475m³

1日平均給水量 206,440m³

イ．収益的収支	収入	10,089,154千円	資本的収支	収入	3,826,180千円
	支出	11,010,540千円		支出	9,310,485千円

収益的収入は、給水収益98億6,787万8千円とその他営業収益を合わせた営業収益98億7,843万2千円及び一般会計補助金1億3,588万7千円等の営業外収益2億1,072万2千円が主なものです。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用75億4,656万5千円と支払利息等の営業外費用15億3,197万5千円、特別損失19億3,000万円が主なものです。以上の結果、収支差引9億2,138万6千円の損失を計上しました。

次に、資本的収入は、一般会計出資金20億6,855万5千円や企業債償還金に充当する雑収入15億

6,300万円が主なものです。

資本的支出は、北勢水道改良事業等の建設改良費19億1,274万2千円と企業債等の償還金73億9,774万3千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の北勢水道等の改良事業のほか、南勢水道拡張事業を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度事業費	備考
業務設備改良工事	H23	357,990	357,990	既設設備の改良
北勢水道改良事業	H23	983,106	983,106	既設施設の改良
中勢水道改良事業	H23	53,550	53,550	既設施設の改良
南勢水道改良事業	H23	359,210	359,210	既設施設の改良
南勢水道拡張事業	H23～26	741,396	25,495	目標日量1,700m ³

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力830,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）、松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）及び多度工業用水道（1日給水能力10,000m³）により、工業用水の供給をしています。

また、県内の工場に良質な工業用水を安定的に供給するため、的確な水処理や配水運用を行うとともに、北伊勢工業用水道事業等において、施設の計画的な改良や整備を行います。

ア. 業務の予定量

(ア) 給水会社数	95社
(イ) 年間総給水量	225,335,920m ³
1日平均給水量	615,671m ³

イ. 収益的収支	収入	6,346,347千円	資本的収支	収入	2,690,400千円
	支出	5,865,725千円		支出	6,853,754千円

収益的収入は、給水収益56億7,499万4千円とその他営業収益を合わせた営業収益62億9,842万4千円と受取利息等の営業外収益3,984万4千円が主なものです。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用51億8,593万2千円と支払利息等の営業外費用6億4,379万3千円が主なものです。以上の結果、収支差引4億8,062万2千円の利益を計上しました。

次に資本的収入は、一般会計出資金12億1,139万4千円や企業債12億2,500万円が主なものです。
資本的支出は、北伊勢工業用水道改良事業等の建設改良費31億1,609万1千円と企業債等の償還金37億3,766万3千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、北伊勢工業用水道改良事業等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H23	250,671	250,671	既設設備の改良
北伊勢工業用水道改良事業	H23	1,377,880	1,377,880	既設設備の改良
北伊勢工業用水道第二次改良事業	H21～28	11,700,000	1,101,777	既設設備の改良
多度工業用水道改良事業	H23	39,900	39,900	既設設備の改良

(4) 電気事業会計

電気事業は、宮川第1、第2、第3、長、三瀬谷、青蓮寺、大和谷、蓮、青田及び比奈知の10発電所において水力発電を、三重ごみ固形燃料発電所においてRDF焼却・発電をそれぞれ行っています。

ア. 業務の予定量

年間販売電力量 343,702,080kWh

イ. 収益的収支 収入 3,117,549千円 資本的収支 収入 34,090千円
支出 3,295,161千円 支出 718,151千円

収益的収入は、電力料22億6,272万5千円等の営業収益22億6,420万3千円、RDF焼却・発電事業の附帯事業収益8億4,337万8千円及び受取利息510万1千円等の営業外収益996万8千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用20億145万9千円、RDF焼却・発電事業の附帯事業費用10億7,573万9千円及び支払利息等の営業外費用2億1,596万3千円が主なものです。

以上の結果、収支差引1億7,761万2千円の損失を計上しました。

次に、資本的収入は、長期貸付金償還金3,409万円です。

資本的支出は、宮川第2発電所改良事業等の建設改良費2億1,614万7千円と企業債等の償還金5億200万4千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の設備改良事業を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
宮川第2発電所改良事業	H23	41,862	41,862	既設発電所の設備改良

一口メモ

- 収益的収支…当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支…住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。

